

就業体験研修会に245人

神戸のホテルで県経営者協会

お辞儀の練習をするインターンシップの参加者。神戸市中央区東川崎町1、ホテルクラウンパレス神戸



兵庫県経営者協会は1日、8～9月に会員企業が学生向けに開く就業体験(インターンシップ)の参加予定者を集め、事前研修会を神戸市内のホテルで開いた。県内の大学3年生を中心に245人が参加した。

同協会のインターン

シップは1999年から実施。今年は自動車販売の神戸マツダ(神戸市兵庫区)や精米卸のヒョウベイ(同)など66社・団体が参加し、昨年から15社増えた。学生も58校の392人と、いずれも過去最多となった。

採用活動は今年か

ら、経団連の加盟企業を中心に後ろ倒しになった。企業と学生は互いの接点を求め、インターンシップを重視する傾向が強まっている。

研修会では、昨年参加した学生が体験を語り、ビジネスマナー研修などもあった。

神戸海星女子学院大3年の高橋理沙さん(21)「神戸市西区」は「初めての経験なので緊張するが、本格的な就職活動を前に視野を広げたい」と話した。

(高見雄樹)